

人と人、人と自然のつながりを学び、 主体的に環境に関わろうとする東っ子

身近な自然環境である葉山川での環境学習を基点に、地域の自然や人を愛し、みんなが幸せに生活するために、環境に配慮した暮らしや行動の仕方について考え、主体的に環境に関わろうとする子どもの育成をめざす。

1 学校の概要

本校は、京阪神のベッドタウンとして人口が急増している草津市に位置する。

平成17年度よりエコ・スクールの実践校の指定を受け、校区に流れる葉山川を中心とした環境学習を重ねてきた。平成19年には淡海こどもエコクラブ大賞を受賞し、近年はFBC（フラワーブラボーコンクール）にも毎年参加し、自然や生き物とのふれあいを体験する学習を積み重ねてきた。また、平成24年度から3年間「しが環境教育リーディング事業」の指定を受け、環境学習に重点を置き、地域の方々と共に取り組んだ。また、平成25年には環境省より環境保全功労者表彰を受けた。現在も「葉山川学習」（環境の学習）を継続して行っており、環境問題への関心は高い。

2 「エコ・スクール笠縫東」の取組

(1) 環境への関心と地域への愛着

社会では、地球温暖化、水質汚濁など、様々な環境問題がメディアに取り上げられている。

それらの問題は何か一つを変えれば解決するような問題ではなく、様々な立場の人と協力しながら少しずつ解決していかなければならない問題である。一人ひとりが自分勝手な考えを改め、相手の立場に立って行動したり、将来を見据えて行動したりする事が大切である。

本校が進める環境学習のねらいは、人と人、人

と自然のつながりを学び、学ぶ楽しさを知る中で、環境への関心や地域への愛着を深め、身近な環境に対して主体的に関わろうとする力や態度を育むことにある。

(2) エコ・スクールは、地域とのつながりによって支えられている

本校の「環境学習」は「自然環境」という意味だけでなく、「地域・人」も含め、「自然・地域・人」を広い意味での「環境」ととらえている。

一年間を通して、地域の方々にお世話になりながら地域の川である「葉山川」を基点に、1年生～6年生が、生活科・総合的な学習の時間を中心に環境学習（葉山川学習）に取り組んでいる。大人も子どもも楽しく集いながら環境学習を進めており、この学びの過程において、子どもたちと地域の人々との「つながり」を特に重要視している。

また、地域には、子どもの学習をサポートする地域の力「地域協働合校推進協議会」があり、特に、エコスクールについては「エコスクール支援委員会」を年2回開き（今年度はコロナ禍で開催せず）、学校と地域とが連携して学習を進めるだけでなく、地域の取り組み内容や、昔の地域の様子などたくさんの方の事を教えていただいている。このように地域との二人三脚により、本校の環境学習は進められている。

(3) 6年間を通した取組

1年生では、生活科の学習で、地域の方の協力を得ながら、葉山川周辺にある草花や生き物に親しみ、休耕田で生き物見つけや、草や実を使ってどんな遊びができるかを学んだ。『秋となかよし』の学習では、いろいろな草花を飾ってオリジナルの帽子を作ったり、どんぐりごまで遊んだりする活動をして、自然のおもしろさに気づいた。また、学校近くの神社でどんぐり拾いをして、教えてもらった遊びを活かして、秋を楽しむ活動をした。

2年生では、生活科の学習で夏野菜(ミニトマト・ししとう・ピーマン・ナス)と冬野菜(大根)を育て観察する体験を通して、それぞれの野菜の葉や花、実の特徴を捉えることができた。実際に収穫する経験を通して、育てる大変さとともに喜びを感じることができた。

また、葉山川に生息している生き物を地域の方に紹介していただき、身近な生き物(ザリガニやダンゴムシ)を育てる学習を行った。この学習を通して、それぞれの生育環境について考えた。季節の移り変わりによって、見られる生き物が変わることに気づくことができた。



1年生：「秋となかよし」



2年生：葉山川の生き物を知ろう

3年生では、理科の学習と関連させながら、昆虫採集に出かけた。地域の方に、昆虫について教えてもらいながら観察をしたり、捕まえたりした。不思議に思ったことや、分からないことが出てきたときは進んで質問したり、自分たちで調べたりすることで、葉山川の生き物について学ぶことができた。また、「草津あおばな会事務局」からあおばなの苗をいただき、あおばなを育てた。「草津あおばな会」の方などに来ていただき、あおばなの栽培についての話を聞いたり、あおばなの色塗りの体験をしたりするなどした。



3年生：葉山川「昆虫採集」

4年生では、今の葉山川のイメージをみんなで出し合うことからスタートし、地域の環境を守るために、自分たちにできることを考えた。「昔の葉山川はどうだったのかな。」という子どもたちの疑問をもとに、実際に旧葉山川のなごりを見つけに出かけたり、地域の方のお話を聞いたりした。そして、今の葉山川があるのは昔の人々の努力による物であることを学んだ。「やまのこ」学習と並行して、昔の葉山川がすぐに氾濫してしまう理由となった森林に目を向け、森林の役割や身近な環境問題にも目を向け学習をした。このような学習を通して、環境問題を解決していくために、自分たちにできることを考え、努力や行動をしていくことが大切であると気づくことができた。



4年生：葉山川たんけん

5年生では、「身近な環境について考えよう」をテーマに、学習に取り組んできた。1学期には、びわ湖の環境について学んだ。魚やプランクトン、水質など自分が決めたテーマに沿って学習を進め、今後の自分の生き方やびわ湖との関わりについて考えを深めることができた。

2学期には、地域の方から米作りについてのお話を聞き、米作りにおける環境への取り組みを学んだ。また、地域の方々に協力していただき、葉山川の生き物調査を行った。身近な川にも外来種が生息していることを知り、自分たちには何ができるのかを考えるきっかけとなった。さらに、



5年：葉山川生き物調査

6年生では、6年間を通して学習してきた葉山川の事をさらに学ぶために、葉山川を清掃している地域の方々に来ていただきお話を聞いた。学習を通して葉山川にゴミがあることや、在来種の数が減っている事を知った。

その後、葉山川の環境を守るためにどのような取り組みをするべきかを話し合い、計画を立て、葉山川へゴミを拾いに行った。



6年生：地域の方を招いての学習

(4) 委員会活動での取組

本校には「エコロジー委員会」があり、委員会活動においても環境活動を進めている。1学期は、地球温暖化を防ぐためにどのような取り組みができるかを考え、グリーンカーテンを作るために、

ゴーヤを植え、栽培も行った。

2学期には、学校内の普段は掃除をしない所の清掃活動や消毒活動を行った。また、環境を守るために自分たちにはどのような事ができるのか考え、ポスターを作ったり、校内放送を行ったりした。

3学期は、葉山川の清掃を行った。橋の下や川の近くなど隅々まで掃除をしていくと、ペットボトルやビニール袋など、生活する中で出てくるゴミがたくさん見つかった。清掃後は、どうすればこれらのゴミが減るかを考えた。

5 おわりに

葉山川学習で出会った地域の人々とのつながりを通して、子どもたちは葉山川周辺の自然だけでなく、人との関わり方など身近な環境から大切にしていくことの重要性を学んでいる。地域の自然をテーマにした環境学習は、持続可能な地域づくりであり、町づくりである。子どもたちがそこから学ぶ楽しさを知り、地域の人と楽しく集う関係を作るとともに、自分の住む町に愛着や誇りを持ち、自ら主体的に環境や周りの人々に働きかけていく力を身に付けていくことこそがその第一歩である。今日まで築いてきた地域の方々とのつながりを今後も大切にし、自分から地域の環境に働きかけていける子どもを育てていきたい。

学校名：草津市立笠縫東小学校

住所：草津市平井3丁目8-1

電話番号：077-564-4391

E-mail: info@kasanuihigashi-p.sk.ed.jp